

防衛

Bouei Hokkaido
October 2016
Hokkaido
Defense Bureau
Ministry of Defense

Vol. 48

北海道

平成28年10月号



目次

- ・防衛白書の刊行について ……2
- ・千歳基地航空祭 ……4
- ・優良工事等に顕彰状授与 ……6
- ・平成28年度長距離機動訓練 ……7
- ・第5回はたらくのりもの大集合in函館 ……7
- ・絆(きずな)～美唄市と美唄駐屯地の紹介～ ……8
- ・平成28年度自衛官募集 ……9
- ・イベント情報 防衛問題セミナー開催 ……10

編集・発行 防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎

Tel.011-272-7579

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



防衛白書の刊行について

防衛省は8月2日に28年版の防衛白書を刊行しました。

防衛白書は、わが国の防衛政策への理解の促進を図るため、1970（昭和45年）年以来、今回で42回目の刊行となります。防衛白書は、例年、夏頃に刊行されています。28年版は27年版の刊行から概ね1年間（27年6月から28年6月まで）に発生した事象や取りまとめた政策などを中心に記述しています。



「平成28年版防衛白書(表紙)」

1 28年版白書について

- (1) 直近一年間のわが国の防衛に関する主要な出来事を、写真と解説を交えて分かりやすくまとめた、「日本の防衛この1年」を、巻頭特集として掲載しました。
- (2) 28年版白書は、平和安全法制成立後、初の白書となることから、特に、これを章立てし、法制の意義、概要等について記述しました。

- (3) 白書の「分かりやすさ、親しみやすさ、読みやすさ」を重視するとともに、防衛省の政策や自衛隊の活動・取組について国民に分かりやすく理解していただけるよう、昨年版よりコラムや写真を大幅に増やしました。
- (4) 巻末資料に、自衛隊の制服、装備品等に関する基礎知識や施設・イベント情報などを掲載しました。



2 28年版白書の内容について

28年版白書は、例年と同様に、3部構成で編集しています。

◎ 第Ⅰ部「わが国を取り巻く安全保障環境」では、北朝鮮による核・弾道ミサイル開発の更なる進展や中国による積極的な海洋進出、ロシアや中国による現状変更の動きのほか、ISILなどの国際テロ組織の活動の活発化・拡散などについて記述し、アジア太平洋地域を始めとするグローバルな安全保障環境について、「様々な課題や不安定要因がより顕在化・先鋭化してきており、一層厳しさが増している。」との認識を記述しています。

- ・ 北朝鮮については、昨今の核実験や累次の弾道ミサイル発射などの度重なる挑発的言動を踏まえ、北朝鮮の核・弾道ミサイル開発の進捗状況について評価するとともに、全般的な軍事的な動きに関する評価を「わが国を含む地域・国際社会の安全に対する重大かつ差し迫った脅威となっている。」と新たに評価しています。
- ・ また、中国については、昨今の東シナ海・南シナ海情勢などを踏まえ、既存の国際法秩序とは相容れない独自の主張に基づき、「力を背景とした現状変更の試みなど、高圧的とも言える対応を継続」させ、その既成事実化を着実に進めているなど、自らの一方的な主張を妥協なく実現しようとする姿勢を示しており、今後の方向性について強い懸念を抱かせる面があるとの認識を記述しています。

◎ 第Ⅱ部「わが国の安全保障・防衛政策と日米同盟」では、現行の防衛計画の大綱及び中期防衛力計画の概要や防衛力整備、平和安全法制の意義や概要、新ガイドライン、沖縄の負担軽減などを含めた日米同盟の強化などについて記述しています。

- ・ 平和安全法制（第3章）については、法制の成立・施行されたことを踏まえ、法制の成立までの経緯や意義・重要性、国際社会からの支持・評価等について記述するとともに、法制の概要について、記述しています。
- ・ また、「日米同盟の強化」では、新ガイドライン（有事における日米の役割分担に関する枠組）や沖縄の負担軽減に向けた取組などについて記述しています。特に、沖縄の負担軽減に関する取組については、
 - 普天間飛行場の移設・返還
 - 沖縄に所在する在日米軍の兵力の削減とグアムへの移転
 - 嘉手納飛行場以南の土地の返還
 - OMV-22オスプレイを含む航空機の訓練移転
 などについて、コラムを交えながら記述しています。

◎ 第Ⅲ部「国民の生命・財産と領土・領海・領空を守り抜くための取り組み」では、各種事態に対する実効的な抑止及び対処、各国との防衛協力・交流などの安全保障協力の積極的な推進、防衛装備・技術に関する諸施策及び地域社会・国民との関わりなど、防衛省・自衛隊の取組などを記述しています。

- ・ 「実効的な抑止及び対処」（第1章第2節）においては、平成27年度の中国機に対する緊急発進（スクランブル）回数が、対象国・地域別の緊急発進回数の公表を開始した平成13年度以降最多（昨年度から107回増え、571回）となったことなど図表等を用いて記述しています。



緊急発進するF-15戦闘機



- ・ また、「大規模災害などへの対応」（第1章第8節）では自衛隊が大規模災害などの発生時に、地方公共団体と連携・協力し、被災者や遭難した船舶・航空機の捜索・救助・水防、医療、防疫、給水、人員や物資の輸送などの様々な活動を行っている内容などについて記述しています。



平成28年熊本地震における南阿蘇での救助活動

図表Ⅲ-1-2-13 災害派遣の実績（平成27年度）

区分	件数	のべ人員	のべ車両(両)	のべ航空機(機)	のべ艦艇(隻)
風水害・地震など	13	21,293	3,689	288	0
急患輸送	419	2,209	2	457	0
捜索救助	22	1,092	180	37	2
消火支援	61	2,164	166	71	0
その他	26	3,277	1,133	35	0
合計	541	30,035	5,170	888	2

※防衛白書は、一般の書店で販売されているほか、防衛省・自衛隊のホームページ (<http://www.mod.go.jp/>) でも閲覧、ダウンロードできますので、是非ともご覧ください。

千歳基地航空祭開催(平成28年8月7日)

千歳基地の航空祭は、自衛隊に対する理解や信頼を一層深めていただくことを目的として毎年開催され、今年は北海道内外から約7万6千人の航空ファンが来場しました。ブルーインパルス等による展示飛行では、会场上空を通過するたびに拍手と歓声がわき起こっていました。



安藤基地司令、山口千歳市長等によるテープカット



B-747政府専用機、F-15戦闘機、U-125救難捜索機による編隊飛行



F-2による模擬飛行



米軍パイロットによるF-16の曲技飛行



北海道防衛局も参加しました。

航空祭では北海道防衛局も専用ブースを設け、政策広報活動を実施しています。

当局は、今後も様々な機会を捉えて、道民の皆様へ、防衛省の政策や自衛隊の諸活動について理解を深めてもらうため、情報を発信してまいります。





より優れた品質の防衛施設の整備に向けて ～優秀工事等に顕彰状授与～



平成28年7月1日、北海道防衛局及び帯広防衛支局において、優秀工事等の顕彰状授与式を実施しました。

この制度は、当局等が発注する建設工事等について、その目的物の出来形や品質が優れ、他の模範とするにふさわしいものを優秀工事等として選定し顕彰するものです。

今年度は、平成27年度に完成した建設工事等の中から、北海道防衛局においては、2件、帯広防衛支局においては、3件を選定し、平川貢調達部長及び菊地一孝帯広防衛支局長から、それぞれ顕彰状を授与しました。

なお、優秀工事等の顕彰受賞者は、本年度を含む4年間、総合評価方式による工事等の入札において、企業の技術力についての評価点が加点されます。



北海道防衛局 優秀工事等顕彰状受賞者



帯広防衛支局 優秀工事等顕彰状受賞者

顕彰状受賞者

北海道防衛局

受賞者	対象工事等
株式会社黒島建設 代表取締役 黒島 竹満	俱知安（25）給水施設新設建築その他工事
株式会社騎西組 代表取締役 高木 明雄	上富良野外（27）宿舎環境整備工事

帯広防衛支局

受賞者	対象工事等
富士通ネットワークソリューションズ株式会社 取締役 小林 弘樹	標津（25）通信線路整備工事
松尾建設工業株式会社 代表取締役 松尾 國重	釧路（27）宿舎環境整備工事
株式会社富士建設コンサル 代表取締役 山内 一頼	帯広（27）車両整備場舗装改修調査検討

※敬称略

詳細につきましては、当局ホームページをご覧ください。

※北海道防衛局ホームページ 『入札・契約情報 優秀工事等の紹介』

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

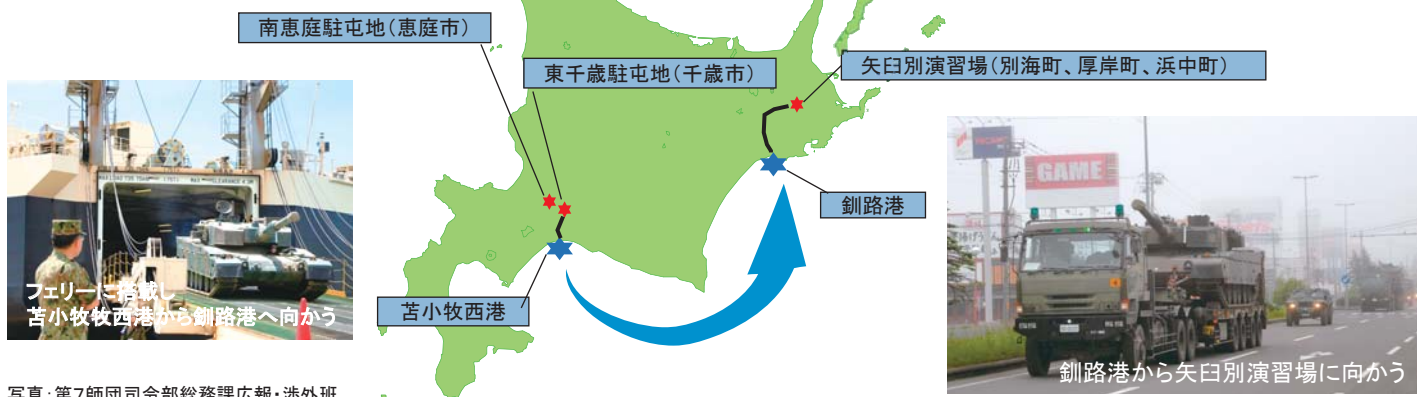
平成28年度長距離機動訓練

第7師団（師団長：田浦陸将）は、戦車連隊戦闘団等の展開能力向上を図ることを目的に6月8日から7月8日までの間、東千歳・南恵庭駐屯地等から矢臼別演習場に至る陸・海・空それぞれの経路を使用して、平成28年度長距離機動訓練を実施しました。

本長距離機動訓練では、6月26日夜、同師団に所属する90式戦車などが東千歳駐屯地を出発し、市道や国道36号線など公道を經由して、約30キロ先の苫小牧西港まで自走、翌27日に民間フェリーで釧路港に向かい、同港からはトレーラで矢臼別演習場に輸送するなどの訓練を行いました。



公道を自走し苫小牧西港へ向かう90式戦車



フェリーへ搭載し
苫小牧西港から釧路港へ向かう



釧路港から矢臼別演習場に向かう

写真：第7師団司令部総務課広報・渉外班

第5回 はたらくのりもの大集合 in函館

海上自衛隊函館基地隊（司令：大久保成彦1佐）は、9月4日、函館市港町ふ頭で開催された函館私立幼稚園PTA連合会、函館キッズサポーターズ主催の「第5回はたらくのりもの大集合 in函館」に参加し、第45掃海隊の掃海艇「ながしま」を一般公開しました。

この催しには、約60の団体・機関が参加しており、同基地隊は平成24年から参加しています。会場ではパトカーやポンプ車、陸上自衛隊の装甲車などが展示されましたが、その中でも会場の岸壁に接岸した「ながしま」はひと際目立ち、親子連れなど3,700名を越す見学者が訪れ興味深く見学していました。



主催者側からは、「来年度も是非、海上自衛隊の艦艇に参加していただきたい。」と要望されており、大久保司令は、「今後も自治体等が実施する活動に積極的に参加し、地域の方々々に自衛隊の活動をより一層理解して頂く。」としています。

写真：函館基地隊本部

絆

(きずな)

～ 美唄市と美唄駐屯地の紹介 ～

美しき 唄のまち

び ばい
美唄市
Bibai City

〒072-8660
北海道美唄市西3条南1丁目1番1号
TEL 0126-62-3131
<http://www.city.bibai.hokkaido.jp/>



高橋幹夫市長

■市長あいさつ

美唄市

は、札幌市と旭川市のほぼ中間に位置し、市内の中央には日本一長い直線道路（29.2km）として有名な国道12号線とJR函館本線、道央自動車道が南北に縦貫し、北海道の流通の要所となっています。

国道の東側は石炭産業による開発と閉山を経て現在もその面影を残し、西側は北海道最大の一級河川である石狩川が流れ、その周辺には道内有数の米どころとして田園地帯が広がっています。

不老長寿の実として知られるハスカップの国内有数の産地であり、古くから市民に愛され続けている美唄焼き鳥やとりめしなどの郷土料理のほか、世界的に有名な彫刻家・安田侃氏の芸術空間を堪能できる「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄」をはじめ、毎年春と秋に6万羽以上のマガンが飛来する「宮島沼（ラムサール条約登録湿地）」、ソメイヨシノの群生北限の地でエゾヤマザクラなど約2,000本もの桜が広がる「東明公園」など、見どころが満載です。



「宮島沼」



「東明公園」

また、平成28年度は、市町村レベルでは全国初となる「受動喫煙防止条例」を施行するとともに、「スポーツ健康都市宣言」を行い、市民が健康でいきいきと暮らすことのできる環境づくりを進める一方、雪氷エネルギーを活用した新産業の創出や外国人観光客の取り込みを視野に入れたサイクルツーリズムの推進などにより交流人口の増加を図るなど、地域の活性化に取り組んでいます。

■美唄駐屯地との関わり

美唄駐屯地は開設以来38年以上の長きにわたり、災害派遣活動や各種行事への支援、ボランティア活動に協力をいただいているほか、駐屯地記念行事や夏祭りでの一般開放などを通じて地域及び市民との深い信頼関係を築き上げてまいりました。

特に、東日本大震災等の教訓を踏まえ、美唄駐屯地とは「大規模災害時等における派遣隊員の留守家族支援に関する協定」、「大規模災害時等における連携に関する協定」を締結し、平素からの情報共有により、災害発生時の迅速かつ適切な対応強化に努めています。

また、市で実施している「防災訓練」において、美唄駐屯地は、警察、消防をはじめとする各関係機関と連携し、消火、救出、炊出し、人命救助システムの展開等を行う等、地域の安全・安心のために協力いただいております。

美唄駐屯地

は、石狩平野と美唄市街を一望できる、美唄市南東に位置します。

駐屯地の歴史は、昭和40年に美唄市商工会議所が中心となり「自衛隊等誘致期成会」を発足、昭和42年市議会における自衛隊誘致等を受け、昭和53年3月東千歳駐屯地から基幹部隊となる30型ロケットを装備する第126特科大隊が移駐し開設されました。

この後、平成5年3月この部隊を基幹として陸の抑止力、専守防衛の新たな切り札として第2地对艦ミサイル連隊に新編されました。

その他、美唄駐屯地業務隊、第101特科直接支援大隊第4直接支援中隊、第345会計隊美唄派遣隊、第314基地通信中隊美唄派遣隊、北部方面情報保全隊美唄派遣隊、第120地区警務隊美唄連絡班、札幌地方協力本部札幌地域援護センター美唄分室が所在しています。

駐屯地所在隊員は約300名余りですが、駐屯地司令（木之田1佐）のもと「明るさと思い遣りのある「挨拶」をしよう」「地域社会との理解と信頼の絆を深めよう」を胸に、地域の皆様に信頼される駐屯地を目指して日々業務に取り組んでいます。



「美唄駐屯地正門」



平和を、仕事にする。

平成28年度自衛官等募集案内



募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生(男子)	18歳以上27歳未満の男子	年間を通じて行っております。	札幌・旭川・函館・帯広の各地方協力本部へ直接お問い合わせ下さい。	合格発表は試験日にお知らせします。
防衛大学校学生	一般(後期) 高卒(見込含)21歳未満の男女(自衛官は23歳未満)	29年 1月21日(土) ~ 1月27日(金)	1次: 29年2月18日(土) 2次: 29年3月10日(金)	1次: 29年3月 3日(金) 最終: 29年3月17日(金)
高等工科大学生徒	推薦 ※1	11月1日(火) ~ 12月2日(金)	29年1月7日(土)~9日(月) ※いずれか1日を指定されます。	29年1月18日(水)
陸上自衛隊	一般 男子で中卒(見込含)17歳未満の者	11月1日(火) ~ 29年1月6日(金)	1次: 29年1月21日(土) 2次: 29年2月2日(木)~5日(日)	1次: 29年1月27日(金) 最終: 29年2月17日(金)
貸費学生	技術 ※2	11月1日(火) ~ 29年1月10日(火)	29年1月28日(土)	29年4月下旬

※1: 男子で中卒(見込含)17歳未満の、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者

※2: 大学の理学部、工学部の3・4年次又は大学院(専門職大学院を除く)修士課程在学(正規の修業年限を終わる年の4月1日現在で26歳未満(大学院修士課程在学者は28歳未満))

◆他の種目や詳しい内容は最寄の自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌地方協力本部
011(631)5472



旭川地方協力本部
0166(51)6060



函館地方協力本部
0138(53)6241



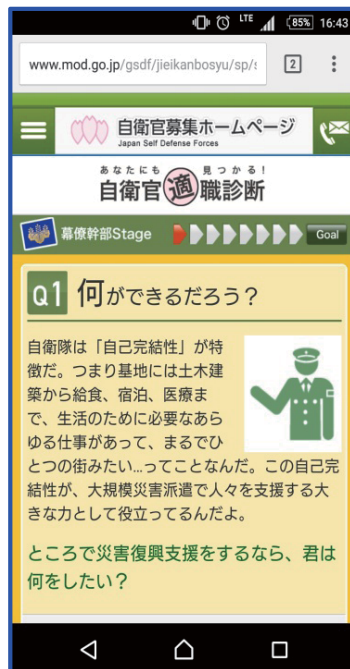
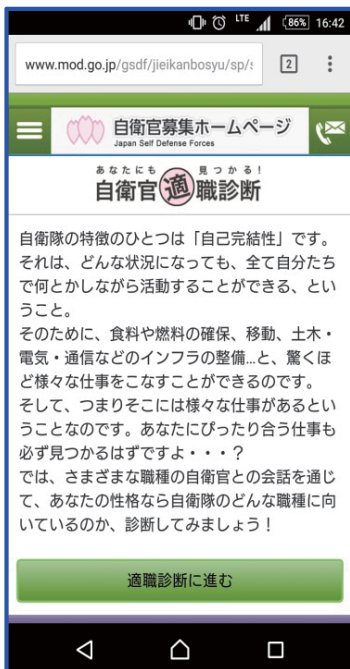
帯広地方協力本部
0155(23)5882

あなたにも見つかる！ 自衛官適職診断



自衛官募集HP

自衛隊の基地は、まるでひとつの「街」。
架空の街「Jタウン」で自衛官が働くさまを見ながら、あなたの性格なら自衛隊のどんな職種に向いてそうか、診断してみよう！



第34回 防衛問題セミナー

別海町で学ぶ

隣国ロシアの動向と 道東の守り



講演1：「ロシアの論理と軍事」

防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室

主任研究官

山添 博史



講演2：「道東の防衛」

陸上自衛隊第5旅団司令部幕僚長

1等陸佐

天本 博文



平成28年 **11/10** (木)

開場 17:30 開演 18:00

会場：別海町マルチメディア館

入場
無料



- ◆無料でご入場いただけます。事前のお申し込みは必要ありません。
- ◆終演時刻は20:00頃を予定しています。
- ◆駐車場には限りがありますので、なるべく公共交通機関などをご利用ください。
- ◆※講師及び内容が変更となる場合があります。



主催：防衛省 北海道防衛局

後援：別海町・別海町商工会・別海町自衛隊協力会・自衛隊帯広地方協力本部

-お問合せ先-

北海道防衛局 企画部 地方調整課 地方協力確保室

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎 TEL 011-272-7571

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/seminar/index.html>

